

文学部 カリキュラムマップ

ディプロマ ポリシー	<p>強くしなやかな精神と、新しい世界を切り拓く能力を、他者のために用いることのできる人間を育成するため、所定の期間在学し、教養、コミュニケーション能力、デザイン力、国際性、並びに所属学部において定める専門性と学識を身につけ、所定の単位を修得し学部規程に定める試験に合格した学生に学位を授与する。</p>					
	◇教養		体験や学びを通して幅広い知識を有している。広い視野に立ちバランスの取れた思考や判断ができる。その経験を基にして、多様な価値観を認めることができる。			
	◇コミュニケーション能力		外国語を含めて他者と意識疎通ができる。他者を大切に思うことができる。その経験を基にして、社会に対して主体的に行動できる。			
	◇デザイン力		問題を発見することができる。自由に発想することができる。解決の道筋をつくることができる。その経験を基にして、他者のために働くことができる。			
	◇国際性		自分の文化を理解できる。異なる文化を理解できる。文化を超えて交流できる。その経験を基にして、社会に貢献できる。			
◇専門性と学識		専門分野における知識を有している。本質を見極め柔軟に思考できる。問題解決のために客観的に俯瞰志向ができる。その経験を基にして、自分を生かすことができる。				
	教養・文化 (LA)	言語 (Lag)	異文化 (CrC)	ビジネス (Bus)	現場力 (Pr)	資格 (Li)
	幅広い学びを通して、社会観、世界観を身につけることができる。	徹底的なトレーニングにより基礎的な言語運用能力を身につける。	地域社会及び日本・世界の多様な文化について広く身につけることができる。	ビジネスコミュニケーション能力を高め、社会で活躍できるホスピタリティマインドを身につける。	多様な場所に向いていき、そこでの実践力を身につける。	
400 (上級科目)	フェミニズム文学論 漢字かな混じりの書	Listening&Reading VII・VIII (英) Speaking&Writing VII・VIII (英) CLILL I・II	比較文化論 アジア文化交流史 中国古典Ⅲ	時事英(韓国・中国・日本)語 I・II	長期インターンシップ 海外インターンシップ I・II	国(英)語科教育法Ⅳ 教育実習指導 教育実習 I・II 教職実践演習(中高)
300 (中級科目)	梅光コモン 演劇的表現の研究 日本文学史 I・II 古典文法・古文解釈 文学作品研究 I～Ⅲ 現代文学研究 アニメ文化論 教育制度論 キリスト教と人間 グローバル教養 I～V	外国語コミュニケーション V・VI (英・韓・中) 日本語表現法 SV・VI 日本語表現法 WV・VI Speaking&Writing V・VI (英・韓・中・日) Listening&Reading V・VI (英・韓・中・日) 文学教材読解 漢文教材読解 現代語の文法 言語学概論 伝えるための文章表現 Fluency Practice 英語教育研究 第二言語習得論 Pleasure reading in English	格差社会と文学 アジアの文学と文化 世界の中の日本文学 English through music English through movies 英語文学研究 英語学概論 英語学概論 英語学概論 中国古典 I・II	国際ビジネス事情 編集実務 メディア論 アジア経済論 文化発信 文化継承と地域 文化と地域連携 エアラインマネジメント ホテルマネジメント ビジネスイングリッシュ I・II ビジネス日本語 I・II English Presentation キャリアデザイン I・II	梅光プロジェクトⅢ・Ⅳ 梅光プロジェクトⅤ・Ⅵ 短期インターンシップⅡ 日本文学・文化紀行 国際ビジネス実習 I～Ⅲ	国(英)語科教育法Ⅱ・Ⅲ 教育相談 教育の制度と教員の身分 総合的な学習及び特別活動の指導法 道徳の理論と指導法 生徒・進路指導論 特別支援教育概論 日本語教育実習 I・II
200 (初級科目)	情報メディア論 教育原理 教職論 現代文化研究入門 サブカルチャーと文学 日本学入門 関門学 演劇論 映画論 電子文学論 身体表現	日本語の基礎 I・II 文章読解 I・II 日本語表現法 SI～IV 日本語表現法 WI～IV Speaking I～IV(英・韓・中・日) Writing I～IV(英・韓・中・日) Listening&Reading I～IV (英・韓・中・日) 英語/韓国語/中国語(留学) I～Ⅳ 海外語学研修 I～IV 留学振り返り講座 言語文化論	留学講座 I・II・Ⅲ 日本の文化・世界の文化 異文化間コミュニケーション ボランティア論 文化交流論 I・II 通時的比較文化論 都市デザイン論 アジア・アフリカ文化論 欧米文化論	アジアのビジネス 地域と観光 国際関係論 国際ビジネス論 ホスピタリティ論 インバウンド入門 ツーリズム論 ファンテーション I・II アドベンチャーリーダーシップ	梅光プロジェクト I・II 外国語ガイド実習 海外ボランティア実習 ボランティア実習Ⅲ・Ⅳ インディペンデントスターターⅢ イングリッシュキャンプ I・II 関門フィールドワーク ビジネスマナー 短期インターンシップ I	教育方法論 教育心理学 中等教育課程論 国(英)語科教育法 I 学校インターンシップ 日本語教育法 I～IV
100 (基礎科目)	世界史 哲学 心理学 日本史 社会学 日本国憲法 社会福祉概論 自然と環境 数学 スポーツ実技 音楽 書道 梅光 BASIS I・II キリスト教倫理 I・II アカデミックスキル 日本の文学 e-基礎数学 I・II (SPI 対策講座)	文章表現法 I・II 外国語コミュニケーション I～IV (英・韓・中・日) Drama Production I・II e-英(韓国・中国・日本)語 I～Ⅲ 日本語・日本文化専攻入門 英語コミュニケーション専攻入門 東アジア言語文化専攻入門	世界の文学 アジアの近現代史 感性トレーニング	情報機器の操作 国際ビジネスコミュニケーション専攻入門 スピーチ法	自然参加実習 I・II ボランティア実習 I・II インディペンデントスターター I・II	集団形成論

文学部 ナンバリング付番ルール

ナンバリングコードは、各科目についており、以下のコードを組み合わせ、その科目の水準、履修順序、授業形態などをあらわしています。

- ① 分野 ② レベル ③ 通し番号 ④ 履修規程上の位置づけ

①分野

LA	教養・文化
LP	言語運用
CC	異文化
BS	ビジネス
Pr	現場力
Li	資格科目 ※卒業単位には含みません。

②レベル

1	基礎科目 主に1年生での履修が望ましい
2	初級科目 主に1～2年生での履修が望ましい
3	中級科目 主に3～4年生での履修が望ましい
4	上級科目 GPAによる履修制限がある

③通し番号

それぞれ01～99までの通し番号がつきます。この番号には意味がありません。

④履修規程上の位置づけ

A	教養科目の必修
a	教養科目の選択
B	共通専門科目の必修
b	共通専門科目の選択
c	専攻専門科目

例えば、「日本の文学」は、①分野が教養・文化、②レベルが基礎、③通し番号が06、④履修規程上の位置づけが共通専門の必修であるため、LA106B
というようにナンバリングされます。

子ども学部 カリキュラムマップ

<p>ディプロマ ポリシー</p>	<p>強くしなやかな精神と、新しい世界を切り拓く能力を、他者のために用いることのできる人間を育成するため、所定の期間在学し、教養、コミュニケーション能力、デザイン力、国際性、並びに所属学部において定める専門性と学識を身につけ、所定の単位を修得し学部規程に定める試験に合格した学生に学位を授与する。</p> <p>◇教養 体験や学びを通して幅広い知識を有している。広い視野に立ち/バランスの取れた思考や判断ができる。その経験を基にして、多様な価値観を認めることができる。</p> <p>◇コミュニケーション能力 外国語を含めて他者と意思疎通ができる。他者を大切に思うことができる。その経験を基にして、社会に対して主体的に行動できる。</p> <p>◇デザイン力 問題を発見することができる。自由に発想することができる。解決の道筋をつくることができる。その経験を基にして、他者のために働くことができる。</p> <p>◇国際性 自分の文化を理解できる。異なる文化を理解できる。文化を超えて交流できる。その経験を基にして、社会に貢献できる。</p> <p>◇専門性と学識 専門分野における知識を有している。本質を見極め柔軟に思考できる。問題解決のために客観的に俯瞰思考ができる。その経験を基にして、自分を生かすことができる。</p>					
	<p>教養・文化(LA)</p> <p>幅広い学びを通して、社会観、世界観を身につける。</p>	<p>子ども学(Ch)</p> <p>教育学や心理学などの学びを深めて、子どもを理解し寄り添う力を身につける。</p>	<p>異文化(CC)</p> <p>外国語のトレーニングを通じて、異文化理解を深めて、基礎的な言語運用能力を身につける。</p>	<p>授業づくり(CM)</p> <p>授業・保育実践力を高めて、学校や保育所で活躍できる力を身につける。</p>	<p>現場力(Pf)</p> <p>多様な場所に出向いていき、そこでの実践力を身につける。</p>	
<p>400 (上級科目)</p>		<p>ICR 分析演習 ICR プラン作成演習</p>	<p>児童英語教育 児童英語教材作成法Ⅱ</p>	<p>教科教育研究Ⅲ・Ⅳ 学校教育研究Ⅰ・Ⅱ</p> <p style="text-align: right;">授業研究法</p>	<p>子育て支援フィールドワーク</p>	
<p>300 (中級科目)</p>	<p>キリスト教と人間 梅光コモン 伴奏法 数の世界Ⅱ 社会福祉 子ども文化論Ⅰ</p>	<p>教育制度論 IN-Child 指導法 生徒指導論(進路指導を含む) 発達・教育相談(小)</p>	<p>子ども英語Ⅱ 児童英語指導法Ⅰ・Ⅱ 児童英語教材作成法Ⅰ PhonicsⅡ 海外インターンシップⅠ・Ⅱ</p>	<p>教科教育研究Ⅰ・Ⅱ 情報化と教育演習 学校経営と学校図書館 学校図書館メディアの構成 学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性 情報メディアの活用</p>	<p>キリスト教保育 乳児保育Ⅰ・Ⅱ 障害児保育 保育内容演習(音楽) 保育内容演習(造形) 保育内容演習(言葉)</p>	<p>教育実習Ⅰ～Ⅲ 教育実習指導 教職実践演習(幼小) 梅光プロジェクトⅢ～Ⅵ キャリアデザインⅠ・Ⅱ インディペンデントスタディーⅢ 保育実習Ⅱ～Ⅲ 保育・教職実践演習</p>
<p>200 (初級科目)</p>	<p>子どもと生活 図画工作 子どもと家庭 身近な科学 子ども体育 音楽表現 美術表現</p> <p>子どもと言葉 子どもと社会 数の世界Ⅰ 器楽</p>	<p>教育原理 教職論 教育心理学 特別支援教育概論 比較教育学 発達心理学 臨床心理学 学校心理学 家族心理学 IN-Child 概論 ICR 分析法</p>	<p>子ども英語Ⅰ PhonicsⅠ 英語(留学)Ⅰ～Ⅳ 留学講座 ボランティア論 海外ボランティア実習 外国語コミュニケーションⅤ・Ⅵ</p>	<p>教育方法と技術 教育課程論 国語科の指導法 社会科の指導法 算数科の指導法 理科の指導法 生活科の指導法 家庭科の指導法 音楽科の指導法 図画工作科の指導法 外国語の指導法 体育科の指導法 道徳の理論と指導法 総合的な学習及び特別活動の指導法 情報化と教育</p>	<p>保育・教育課程論 保育の内容及方法Ⅰ(健康) 保育の内容及方法Ⅰ(表現) 保育の内容及方法Ⅰ(環境) 保育の内容及方法Ⅰ(言葉) 保育の内容及方法Ⅰ(人間関係) 保育の内容及方法Ⅱ(健康) 保育の内容及方法Ⅱ(表現) 保育の内容及方法Ⅱ(言葉) 保育の内容及方法Ⅱ(人間関係)</p>	<p>自然学習フィールドワーク 梅光プロジェクトⅠ 梅光プロジェクトⅡ ボランティア実習Ⅲ・Ⅳ 長期インターンシップ 保育実習ⅠA・ⅠB 保育実習指導ⅠA・ⅠB 介護等体験 ファシリテーションⅠ・Ⅱ アドベンチャーリーダーシップ</p>
<p>100 (基礎科目)</p>	<p>梅光 BASIS Ⅰ・Ⅱ キリスト教倫理Ⅰ・Ⅱ アカデミックスキル 日本史 世界史 日本国憲法 哲学 社会学 自然と環境 数学</p> <p>心理学 スポーツ実技(講義を含む) 音楽 書道 自然参入実習Ⅰ・Ⅱ スピーチ法 情報メディア論 情報機器の操作 e-基礎数学Ⅰ・Ⅱ(SPI 対策講座)</p>	<p>子ども未来学入門Ⅰ・Ⅱ 児童英語入門Ⅰ・Ⅱ 子どもと人権</p>	<p>英語Ⅰ 英語Ⅱ Listening & ReadingⅠ(子・英) SpeakingⅠ・Ⅱ(子・英) 留学講座 e-英語Ⅰ・Ⅱ 外国語コミュニケーションⅠ～Ⅳ</p>	<p>保育内容総論</p>	<p>フィールドワークⅠ 子どもと野外体験 ボランティア実習Ⅰ・Ⅱ インディペンデントスタディーⅠ・Ⅱ 短期インターンシップⅠ・Ⅱ</p>	

子ども学部 ナンバリング付番ルール

ナンバリングコードは、各科目についており、以下のコードを組み合わせ、その科目の水準、履修順序、授業形態などをあらわしています。

- ① 分野 ② レベル ③ 通し番号 ④ 履修規程上の位置づけ

①分野

LA	教養・文化
Ch	子ども学
CC	異文化
CM	授業力
Pr	現場力

②レベル

1	基礎科目 主に1年生での履修が望ましい
2	初級科目 主に1～2年生での履修が望ましい
3	中級科目 主に3～4年生での履修が望ましい
4	上級科目 GPAによる履修制限がある

③通し番号

それぞれ01～99までの通し番号がつきます。この番号には意味がありません。

④履修規程上の位置づけ

A	教養科目の必修
a	教養科目の選択
B	共通専門科目の必修及び選択必修
b	共通専門科目の選択
c	専攻専門科目

例えば、「子どもと人権」は、①分野が子ども学、②レベルが基礎、③通し番号が05、④履修規程上の位置づけが共通専門の必修であるため、Ch105b
というようにナンバリングされます。